

劇場映画「星屑の町」 久慈市がロケ地に決定



柱の水車広場を下見する杉山監督ら

地方回りの売れないムービー

ド歌謡コーラスグループ「山田修とハローナイツ」の笑いとしの涙を描く人気舞台「星屑の町」。この作品の集大成として、舞台とは一味違った魅力を満載した劇場映画「星屑の町」のロケ地の一つに久慈市が決定しました。

劇作家・演出家の水谷龍二とラサール石井、小宮孝泰が「笑ってホロリとする作品」を作ることを目指し結成したユニット「星屑の会」。平成6年に第1作「星屑の町」山田修とハローナイツ物語が上演されました。そこから約25年間、全国各地で作品を上演。平成28年には第7作目となる「完結編」が上演され、平成31年冬にはアンコール上演するほどの大人気シリーズです。



旧道のトンネルに興味津々の制作関係者



荷軽部小学校の炭焼き小屋を見学

ロケは5月下旬予定

映画撮影までには、ロケ地情報の提供や施設使用の許可・申請、エキストラの募集などさまざまな支援が必要です。これまでの官民一体で取り組んでいる、撮影支援体制が制作関係者に評価されたことが、ロケ地決定の大きな要因となっています。

「星屑の町」は、2月中旬に久慈市が撮影候補地となり、4月にかけて、制作関係者によるロケ地の下見が行われました。本格的なロケは5月下旬の予定で、50人程度のエキストラの出演が見込まれています。皆さんの姿が全国の映画館で上映されるかも。エキストラ登録のご協力をお願いします。

映画のあらすじ

東北の田舎町が舞台。リーダーの山田修を中心に、天野がボーカル、市村、込山、青木、西がコーラスを担当する「ハローナイツ」は十数年間、細々と活動していた。ある日、山田の故郷の青年団から夏まつり出演のオファーが届く。田舎町に向かうと、そこには山田と長い間遺恨のある弟、英二が待っていた…

スナックを経営する浩美と娘の愛、英二の息子の啓太も登場し、田舎町を舞台ににぎやかな物語が繰り広げられる。愛は、ハローナイツと出会うことで、歌手になる夢を再びかなえたいと思うようになる。物語は、愛が加わったハローナイツの活躍とともに、エンディングに向かう。

登場人物

- ・天野 真吾 (大平サブロー)
- ・市村 俊樹 (ラサール石井)
- ・山田 修 (小宮 孝泰)
- ・込山 晃 (渡辺 哲)
- ・西 一男 (でんでん)
- ・青木 五郎 (有菌 芳記)
- ・山田 英二 (菅原 大吉)
- ・キティ岩城 (戸田 恵子)
- ・久間部 愛 (のん)

スタッフ

【原作・脚本】 水谷 龍二
昭和57年からテレビドラマの脚本、芝居の作・演出を手掛ける。「風間杜夫ひとり芝居三部作一挙上演!!」で「平成15年度日本演劇協会賞」を受賞。

【監督】 杉山 泰一
平成28年に「の・ようなもの のようなもの」で劇場映画監督デビューを果たす。ドラマ「相棒」にも監督として参加。

ロケツーリズムで地域おこし

市では、映画・ドラマのロケ地を訪ね、風景と食を堪能し、おもてなしに触れ、地域のファンになる「ロケツーリズム」を推進しています。

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の放映以降、久慈地域ではテレビ番組や映画などのロケが多数行われるようになりました。ロケツーリズムは「経済効果」「地域のPR効果」「有名人と会える・地域が映る満足感」など多様な効果があります。

「星屑の町」は「あまちゃん」後初となる、久慈市で数日間ロケが行われる作品。本年度中に作品が完成し、令和2年の春以降に全国の映画館で上演を予定しています。



「あまちゃん」のロケ時にオタクを熱演するエキストラの皆さん

放映から6年が経過した今でも「あまちゃん」のチカラは続いています。「あまちゃん」を久慈市の宝として大切にしながらも、ロケツーリズムにより、新たな魅力を発信し、地域活性化に活用するため、皆さんのチカラが必要です。市全体で「星屑の町」を応援していきましょう。



杉山 泰一 監督

支援体制がロケ地選定の決め手

私自身「星屑の町」の舞台や昭和歌謡、大衆映画が好き。改めて昭和歌謡を認識してほしい、という思いで映画制作を決めました。昭和世代の人だけでなく、皆さんに楽しんでもらえる作品になると思っています。

舞台は東北の田舎町という設定。久慈市をロケ地に選んだのは、のんちゃんの出演が決定したことも大きな要因ですが、一番の要因は、市長さんをはじめ、市の撮影支援体制がとても良かったことです。制作側としては、撮影に協力してくれる地域は本当にありがたいです。

ロケ地の下見をしてみると、手つかずの自然がたくさん残っていて、その中に生きている人たちの生活感、作品のイメージと重なるところがたくさんありました。炭焼きや短角牛、秋まつりなども素晴らしい文化だと思います。

撮影現場では長い時間待たされたり、ちょっとしか映ってなかったり、色々なことがあると思いますが、楽しい撮影現場になると思います。皆さんにも映画に出演したという思い出を残してほしいので、エキストラにもドンドン参加してください。

エキストラを募集します

久慈市と北三陸地域で撮影される映画やドラマなどに参加するボランティア（無償）エキストラを募集しています。ドラマや映画の撮影に楽しく参加してみませんか。

▼応募資格：久慈市、洋野町、野田村、普代村、田野畑村に在住・勤務・通学している人、または同地域で活動している団体。（18歳未満は保護者の同意が必要）

※詳しくは、市ホームページ「北三陸・久慈ロケーションサービス」を参照。「募集要項」と「エキストラの心得」をよく読み、個人情報の取り扱いに同意のうえ応募してください

▼HP：<http://www.city.kuriyama.jp/kouryutaka/azurike.html>



▼応募方法：受付はEメールのみで行います。（電話やFAXの受付は行いません）必要事項を記入のうえ、登録される人の上半身・脱帽の写真を添付して応募してください。※団体は参加する人全員の必要事項と写真が必要となります

▼必要事項：①氏名（よみがな）②生年月日（西暦）③性別④身長⑤電話番号（携帯電話推奨）⑥メールアドレス⑦居住地・在勤・在学の地域（在勤・在学の場合は、会社名・学校名を記入）⑧参加可能な曜日・時間帯（現時点でおおよそ決まっている範囲で記入）⑨その他（特技や参加への意気込み）⑩保護者の氏名・電話番号・メールアドレス（18歳未満の場合）

▼撮影参加の流れ：エキストラ手配の依頼があった場合、登録アドレスに情報を提供。依頼条件に該当し、参加可能な人はメールで返信してください。（参加不可能な人の返信は不要）。参加を依頼する人には、折り返し連絡します（参加可能な人すべてが、撮影に参加できるわけではありません）

▼応募先：kankou@city.kuriyama.jp

▼応募期限：5月10日（金）※期限後に再募集を行う場合があります

▼お問い合わせ先：52・2123 観光交流課